



教育・学び ~のための 持続可能な開発

ESDは、日本語にすると「持続可能な開発のための教育」という意味の言葉です。これだけ読むと、とても難しい言葉に感じるかもしれませんが、心配ありません！まずは「ESD」という言葉だけを知っていれば、大丈夫です。この3文字のアルファベット「ESD」で、今、世界中の人々が未来の地球を救うために行動しています。

はじめに

『**こども環境白書**』は、環境省が毎年作成する『**環境・循環型社会・生物多様性白書**』をもとに、小学校高学年以上のおみなさんに、今、起きている環境問題を分かりやすく理解していただくためにつくられています。

平成26年度は、世界中が取り組んでいる「ESD」という世界共通の解決方法をキーワードにして、さまざまな環境問題と向き合うためのヒントを紹介しています。



この白書で登場するキャラクターの紹介

環境省 ESD キャラクター



生物多様性 キャラクター



「環境」を学ぶ前に

Q 「環境」って何？

A 空気、水、食べ物、天気や気候・・・わたしたちの生活に関わり、わたしたちの周りにあるもの、すべてが「環境」です。環境は、みなさんが安心して毎日を暮らすために、とても大切なものです。



Q 「環境省」ってどんなところ？

A 環境省は日本のため、そして地球のために、さまざまな環境の問題に対応し、今の環境を未来につなげるための仕事をしている国の機関です。



ESDとは

毎日の暮らしの中で「考え、学び、気づくこと」

どう考えて何を学び何に気づくのか

詳しくは次のページへ！

ESDで目指す社会

今も将来も、幸せに暮らせる社会



ESD / 今から未来まで！ 地球を救う！ ESD